

行動統計学

2 units (selection) 2nd-year(2nd semester, intensive)

Takuji Kawano · PROFESSOR / CENTER FOR UNIVERSITY EXTENSION

Target) 観察, 調査, 実験などによって収集したデータを, その種類と研究の目的に合わせて適切に統計処理を行い, その結果から言及できることを正しく解釈できるようになる.

Outline) 「情報処理の基礎」で学んだ記述統計の手法をもとにして, 研究目的, データの種類, 研究デザインにあった推測統計の分析手法をエクセル, SPSS を利用して行えるように講義と実習を組み合わせて学習する.

Keyword) 記述統計量, 推測統計, 検定統計量, 多変量解析, 統計による確率的判断

Fundamental Lecture) “情報処理の基礎 I”(1.0)

Notice) その日の疑問を, あとあとまで残さないように注意する.

Goal)

1. 収集したデータの測定のレベルや型に適し, 且つ, 分析の目的にあった統計手法が選択できる
2. 正確な計算により得られた結果が正しく解釈できる.

Schedule)

1. 記述統計量と標準化得点(「情報処理の基礎」の復習)
2. 計算機を用いてさまざまな統計量の計算
3. 母集団と標本
4. 統計分析に用いる確率分布
5. 統計的仮説検定と区間推定の理論と基本的考え方
6. 2つの平均値の差の検定
7. 分散分析法入門
8. 要因計画と被験者内分散分析
9. ノンパラメトリック検定:度数や比率の検定
10. ノンパラメトリック検定法:順位による検定
11. さまざまな相関係数
12. 相関と回帰によるデータの理解
13. 重相関と重回帰分析
14. 差の検定と関係の検定
15. 期末試験
16. 解説とまとめ

Evaluation Criteria) 課題(30%), 期末試験(70%)による総合評価を行う

Re-evaluation) 再試験:なし

Textbook) 山内 光哉 著 「心理・教育のための統計法<第3版>」サイエンス社

Reference) 多変量解析法に関する資料は, その都度配布する

Contents) <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=218606>

Contact)

⇒ Kawano (+81-88-656-7282, kawano@cue.tokushima-u.ac.jp) MAIL (Office Hour: 後期:授業日 12:10~ 12:40 p.m. 川野研究室 (6号館 2F))